

## 米軍機による騒音の軽減を求める要請

厚木基地を離着陸する米軍機の騒音及び低空飛行による威圧感については、かねてよりその軽減・解消を要請しているところです。しかしながら、今月に入り、町田・相模原両市には、騒音による苦痛、怒り、恐怖、また墜落の不安を訴える市民からの苦情が連日寄せられております。その件数は4月4日から増加し、25日までに、両市合わせて既に139件（町田市44件、相模原市95件）にも達しています。また、この間100dBを超える凄まじい騒音を記録した回数が47回を超えるなど、極めて深刻な事態と言わざるを得ません。

この間に寄せられた市民からの苦情・訴えの内容は別添のとおりですが、昼夜を問わない飛行、しかも低空・編隊飛行がもたらす凄まじい騒音は市民に耐え難い苦痛と恐怖を強いており、一向に改善しない状況に大きなフラストレーションと苛立ちを感じています。特に、20日の12時から13時には、中心市街地上空におけるたび重なる旋回飛行により激しい轟音、振動が発生し、恐怖感、嫌悪感、墜落への不安を市民に与えています。自由と権利を守る国が、市民生活の安全を脅かす行為を行っているということは、とうてい理解できません。極力騒音を減らすよう、随時、天候、風向き、飛行ルート、飛行方法を考慮して飛行訓練を行うよう強く要請します。

29日からはゴールデンウィークが始まる時期でもあり、家庭での団らんを激しい騒音によって、台無しにされてしまうことを大変恐れています。

貴職におかれては、これらのことを十分に斟酌され、騒音問題の抜本的な解決が図られるまでの間、騒音の総量を減らし、また、墜落の不安を解消するために次の項目を直ちに実施するよう、強く求めます。

- 1 12時から13時まで、及び18時から翌朝8時までの飛行活動の禁止
- 2 土・日曜日・祝日及び学校の試験期間等における飛行活動の禁止
- 3 低空飛行、編隊飛行、中心市街地上空での旋回飛行等の禁止

平成18年4月27日

在日米海軍厚木航空施設司令官

ジャスティン D. クーパー大佐 殿

町田市長 石 阪 丈 一

相模原市長 小 川 勇 夫